

中学校給食センター整備運営事業

審査講評

令和6年2月26日

中学校給食センター整備運営事業者選定委員会

— 目 次 —

| | |
|----------------------------|----------|
| 1. 審査体制 | 1 |
| 2. 選定委員会の開催経過 | 1 |
| 3. 審査結果 | 2 |
| 3.1. 競争参加資格審査..... | 2 |
| 3.2. 提案審査 | 2 |
| 3.3. 提案価格の得点化..... | 5 |
| 3.4. 総合評価 | 5 |
| 3.5. 審査講評 | 5 |
| 3.6. 総評..... | 8 |

1. 審査体制

和歌山市（以下、「市」という。）は、提案内容の審査に関して、当初、市職員を評価者とし、学識経験者をアドバイザーとして参加する「中学校給食センター整備運営事業者選定委員会」（以下、「選定委員会」という。）を設置し、第1回選定委員会を開催したが、再度、最適な評価方法を検討した結果、事業者選定に係る客観性、透明性を一層高めるために、市職員のほか、学識経験者等を評価者に加えることとなった。

選定委員会を附属機関として設置及び運用するため、「和歌山市中学校給食センター整備運営事業者選定委員会条例」を制定し、改めて委員を委嘱・任命のうえ、第2回及び第3回選定委員会を開催した。

【選定委員会の委員】

■第1回選定委員会

| | | |
|--------|-------|----------------------------|
| 委員長 | 利根 功一 | 教育委員会事務局 教育局長 |
| 委員 | 犬塚 康司 | 市長公室長 |
| 〃 | 岡本 和也 | 都市建設局長 |
| 〃 | 坂野 裕之 | 財政局長 |
| 〃 | 本田 雅彦 | 産業交流局長 |
| アドバイザー | 西出 充徳 | 和歌山信愛女子短期大学生活文化学科食物栄養専攻 教授 |
| 〃 | 齊藤 仁 | 和歌山大学経済学部経済学科 准教授 |

■第2、3回選定委員会

| | | |
|------|-------|----------------------------|
| 委員長 | 西出 充徳 | 和歌山信愛女子短期大学生活文化学科食物栄養専攻 教授 |
| 副委員長 | 鳥巢 茂樹 | 武庫川女子大学建築学部建築学科 教授 |
| 委員 | 荒木 良一 | 和歌山大学教育学部科学教育 教授 |
| 〃 | 齊藤 仁 | 和歌山大学経済学部経済学科 准教授 |
| 〃 | 利根 功一 | 教育委員会事務局 教育局長 |

2. 選定委員会の開催経過

選定委員会は計3回開催した。開催日と主な議題は次に示すとおりである。

【選定委員会の開催日及び審議等の事項】

| 選定委員会 | 開催日 | 主な議題 |
|-------|------------|--------------------------|
| 第1回 | 令和5年7月26日 | 事業者選定基準、募集要項等 |
| 第2回 | 令和5年12月27日 | 提案審査 |
| 第3回 | 令和5年12月28日 | ヒアリング、総合評価点の算定、最優秀提案者の選定 |

3. 審査結果

3.1. 競争参加資格審査

下記の4グループから競争参加資格審査書類の提出があり、市にて参加者が備えるべき参加資格要件（募集要項に規定されている要件）の確認を行った結果、全てのグループの参加資格が認められることを確認したことの報告を受けた。

| グループ名 |
|-----------------------|
| 共立ソリューションズグループ |
| シダックス大新東ヒューマンサービスグループ |
| 東洋食品グループ |
| 南テストィパルグループ |

※事業者グループ名は、競争参加資格審査書類の受付順

その後、共立ソリューションズグループが令和5年11月29日に、東洋食品グループが令和5年12月4日に提案書の提出を辞退することの報告を受けた。

3.2. 提案審査

(1) 基礎審査

下記の2グループから提案書が提出され、市が必要書類に不備がないこと、提案価格が提案限度額を超えていないこと、提案内容が要求水準の基礎項目を満たしていることを確認し、報告を受けた。

| グループ名 | 受付番号 | 構成員 | |
|-------------------------------|------|------|------------------------------|
| シダックス 大新東ヒューマン サービスグループ | 793 | 代表企業 | シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 近畿支店 |
| | | 構成企業 | 株式会社阿波設計事務所 和歌山支店 |
| | | 構成企業 | 株式会社キューブ建築研究所 |
| | | 構成企業 | 株式会社中井組 和歌山支店 |
| | | 構成企業 | 城善建設株式会社 |
| | | 構成企業 | 株式会社トーエネック 大阪本部 営業部 |
| | | 構成企業 | 日本調理機株式会社 関西支店 |
| | | 構成企業 | 株式会社長谷川冷機 |
| | | 構成企業 | パナソニック産機システムズ株式会社 近畿支店 |
| | | 構成企業 | 株式会社吉建 |
| | | 構成企業 | 三菱電機フィナンシャルソリューションズ株式会社 関西支店 |
| | | 構成企業 | 太平ビルサービス大阪株式会社 橋本営業所 |
| | | 構成企業 | 株式会社ショーエイサービス |
| 南テストィパル グループ | 798 | 代表企業 | 株式会社南テストィパル |
| | | 構成企業 | 株式会社和田物流 |
| | | 構成企業 | 株式会社綜企画設計 大阪支店 |
| | | 構成企業 | 株式会社岡本設計 |
| | | 構成企業 | 三友工業株式会社 |
| | | 構成企業 | アサカワリフォーム株式会社 |
| | | 構成企業 | 株式会社中西製作所 奈良営業所 |
| | | 構成企業 | 武田商会 |
| | | 構成企業 | 株式会社東急コミュニティー |
| | | 構成企業 | 株式会社南北 |

(2) 実績項目審査

2 グループが提出した実績項目提案書の内容について、市にて事業者選定基準に基づき確認を行った結果は、以下のとおりである。

| 評価項目 | | 配点 | 793 グループ | 798 グループ |
|---------|------------|--------------------|-------------|-------------|
| ①設計企業 | 企業の能力 | 地域精通度・事業所等所在地 | 16 | 16 |
| | | 同種業務の業務実績 | 15 | 10 |
| | 配置予定技術者の能力 | 同種業務の業務実績 | 9 | 9 |
| | | 設計業務責任者 主任担当技術者 | 9 | 9 |
| | | 資格要件 主任担当技術者 | 6 | 6 |
| 社会貢献等 | 障がい者雇用 | 3 | 0 | |
| ②建設企業 | 企業の能力 | 同種工事の施工実績の有無 | 15 | 0 |
| | 社会貢献等 | 施工管理基準の有無 | 3 | 3 |
| | | 環境対策 | 5 | 3 |
| | | 災害時等への地域貢献 | 3 | 3 |
| | | 障がい者雇用 | 3 | 0 |
| ③調理設備企業 | 企業の能力 | 地域精通度・事業所等所在地 | 16 | 16 |
| | | 同種業務の業務実績 | 15 | 15 |
| | 社会貢献等 | 品質管理基準 | 3 | 3 |
| | | 環境対策 | 5 | 5 |
| | | 障がい者雇用 | 3 | 0 |
| ④維持管理企業 | 実施体制 | 業務実施体制 | 12 | 4 |
| | 企業の能力 | 地域精通度・事業所等所在地 | 16 | 16 |
| | | 品質管理基準 | 3 | 3 |
| | 社会貢献等 | 環境対策 | 5 | 5 |
| | | 障がい者雇用 | 3 | 3 |
| ⑤運営企業 | 企業の能力 | 地域精通度・事業所等所在地 | 16 | 16 |
| | | 同種業務の業務実績 | 15 | 15 |
| | 社会貢献等 | 品質管理基準 | 3 | 3 |
| | | 環境対策 | 5 | 5 |
| | | 障がい者雇用 | 3 | 3 |
| 実績項目点計 | | 210 | 174 | 156 |

(3) 技術項目審査

2 グループが提出した技術項目提案書の提案内容において、その提案が優れていると認められるものについては、その程度に応じて、以下に示す判断基準により選定委員会が性能点を付与した。

なお、技術項目審査段階では、参加グループの構成員の実名及び実績項目審査結果並びに提案価格を伏せて審査し、審査終了時に全ての実名及び実績項目審査結果並びに提案価格を開示し、総合評価を行った。

| 評価内容 | | 採点レート |
|------|------------------------------------|--------------|
| A | 要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が特に優れている | 当該項目の配点×100% |
| B | 要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容が優れている | 当該項目の配点×65% |
| C | 要求水準書の記載を超える提案がなされており、その内容がやや優れている | 当該項目の配点×30% |
| D | 要求水準書と同程度の提案内容 | 当該項目の配点×0% |

※その他に関する提案の「(3) 地域経済 (定量評価)」については、発注額に基づく算定式により評価する。

技術項目審査の結果は、以下のとおりである。

| 評価項目 | | 配点 | 793 グループ | 798 グループ |
|-----------|----------------------|-----|-------------|-------------|
| (1) 事業計画 | ①事業実施方針、実施体制 | 25 | 11.00 | 16.25 |
| | ②リスク管理の方針 | 25 | 14.50 | 19.75 |
| (2) 設計・建設 | ①配置計画・外部動線 | 25 | 14.75 | 19.75 |
| | ②内部計画 | 25 | 12.75 | 16.25 |
| | ③施工計画 | 20 | 13.00 | 15.80 |
| | ④地球環境・ライフサイクルコストへの配慮 | 30 | 21.60 | 25.80 |
| (3) 開業準備 | ①円滑な供用開始に配慮した開業準備 | 20 | 13.00 | 13.00 |
| (4) 維持管理 | ①修繕計画 | 20 | 10.20 | 11.60 |
| | ②調理備品及び食器・食缶等の更新 | 20 | 13.00 | 13.00 |
| | ③事業終了時の引き継ぎ・アフターケア | 20 | 14.40 | 15.80 |
| (5) 運営 | ①衛生管理 | 30 | 17.40 | 19.50 |
| | ②おいしい給食の提供 | 30 | 23.70 | 19.50 |
| | ③食物アレルギー対応 | 25 | 18.00 | 18.00 |
| | ④配送・回収・配膳 | 25 | 12.75 | 16.25 |
| | ⑤事故の未然防止・再発防止・緊急時の対応 | 25 | 16.25 | 19.75 |
| | ⑥食育支援 | 20 | 13.00 | 15.80 |
| | ⑦地球環境・ライフサイクルコストへの配慮 | 25 | 14.50 | 16.25 |
| (6) その他 | ①災害対応 | 25 | 21.50 | 21.50 |
| | ②地域経済 (定性評価) | 20 | 14.40 | 14.40 |
| | ③地域経済 (定量評価) | 20 | 5.44 | 20.00 |
| | ④付帯事業 | 15 | 9.75 | 11.85 |
| 技術項目点計 | | 490 | 304.89 | 359.80 |

3.3. 提案価格の得点化

提案価格を対象として、以下に示す方法に基づき価格点を付与した。

$$\text{価格点} = 300 \text{ 点} \times (\text{最低入札価格} / \text{当該入札価格})$$

| 項目 | 793 グループ | 798 グループ |
|------|-----------------|-----------------|
| 提案価格 | 9,356,898,522 円 | 8,893,209,000 円 |
| 価格点 | 285.13 | 300.00 |

3.4. 総合評価

選定委員会は、次表のとおり総合評価点を算定し、南テストィパルグループ（798 グループ）を最優秀提案者として選定した。

| 項目 | | 配点 | シダックス大新東 ヒューマンサービスグループ (793 グループ) | 南テストィパル グループ (798 グループ) |
|-----------|------|-------|---|-------------------------------|
| 性能点 | 実績項目 | 210 | 174.00 | 156.00 |
| | 技術項目 | 490 | 304.89 | 359.80 |
| | 合計 | 700 | 478.89 | 515.80 |
| 価格点 | | 300 | 285.13 | 300.00 |
| 合計（総合評価点） | | 1,000 | 764.02 | 815.80 |

3.5. 審査講評

以下、評価できる主な提案を抽出した。

(1) 事業計画

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・各業務において市外事業者と市内事業者がバランスよく配置された実施体制が評価できる。
- ・運営企業が近隣で多数の学校給食調理業務を受託しており、責任者クラスの調理員のサポートが期待できる点で評価できる。
- ・独自のリスク分析だけではなく、第三者機関を起用してリスクの分析を行うことが評価できる。
- ・設計業務と並行して一部工事を実施することで、施設整備の工期短縮を図る提案が評価できる。

<南テストィパルグループ（最優秀提案者）>

- ・喫食する生徒側の満足度を事業実施方針に含めていることが評価される。
- ・専門家による指導体制などセルフモニタリングの充実が評価できる。

- ・要求水準書に記載した基本方針と施設整備・維持管理・運営の提案の関係が的確で分かりやすく簡潔に提案されており、評価できる。
- ・施設整備に関する資材等の価格高騰や人材不足などについて、地元企業の協力体制やチェック体制が充実した提案となっており、評価できる。
- ・独自のリスク分析だけでなく、第三者機関を起用してリスクの分析を行うことが評価できる。
- ・リスクが顕在化した時のバックアップ体制や賠償責任保険の対応が具体的に提案されており、評価できる。

(2) 設計・建設

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・内部計画において、死角となる場所に対して監視カメラで安全性を確保することなど、様々な角度からの安全性の取り組みが評価できる。
- ・温熱環境下でも従業員の体調を崩さないような対応が空調などに配慮されており、評価できる。
- ・地域の行事を考慮した地域住民を視野に入れた工事期間中の安全管理が評価できる。
- ・計画建物は年間一次エネルギー消費量（BEI）50%以上削減により、ZEB Ready の認証を取得する提案が評価できる。

<南テストィパルグループ（最優秀提案者）>

- ・震災等により建物が崩壊した状況なども考慮されている他、災害時の物資緊急搬送などへの配慮、近隣施設である中央卸売市場との緊急車両の往来などの配慮なども視野に入れており、評価できる。
- ・温熱環境下でも従業員の体調を崩さないような対応が空調などに配慮されており、評価できる。
- ・工事期間中の敷地周辺への環境影響や安全性への配慮が詳細に対案されており、評価できる。
- ・調理設備の故障対応としてシンプルな構造で部品点数が少なく、入手可能な汎用性の高い機器を採用していることは評価できる。

(3) 開業準備

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・市栄養教諭や調理員から郷土料理等の調理指導を受け、市の味を継承する提案が評価できる。
- ・運営企業が近隣で受託している学校給食調理業務の実績から地域の募集状況を把握した上で、条件にあった人員を確保する提案が評価できる。

<南テストィパルグループ（最優秀提案者）>

- ・供用開始1年前に配置する運營業務の総括責任者（開業準備業務責任者）を中心に社員・パートを早期に募集する提案が評価できる。
- ・新規雇用した社員には、運営企業が受託している大阪府内の自校式学校給食施設で学校給食の基礎知識を取得させる提案が評価できる。

(4) 維持管理

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・調理備品を耐用年数よりも早期に交換することや消耗の激しい設備の更新を早い段階での実施することなどが評価できる。
- ・事業期間終了後の問合せ対応等のサポート期間が要求水準 1 年に対して 3 年間としていることが評価できる。

<南テストィパルグループ（最優秀提案者）>

- ・食器等について、目視ではできない「油脂」「タンパク質」「デンプン」等の残留量がチェック項目に取り上げられており、評価できる。
- ・計画修繕費とは別に引継ぎに必要な経費が計上されている。また、計画修繕費用が予算オーバーした場合の対処が提案されており、評価できる。

(5) 運営

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・従業員の教育について、衛生講習会、危機管理研修会、アレルギー対応食研修会などの具体的な研修内容が提案されており、評価できる。
- ・従業員が細菌保有者にならないように、家庭内においても感染症や食中毒の原因となる多くの食材を喫食禁止するよう配慮されていることが評価できる。
- ・アレルギー対応食責任者や班長などが欠勤の場合の対応が考慮された体制が評価できる。
- ・給食で問題となる保温・冷却などについて具体的かつ詳細に提案されており、評価できる。
- ・調理従事者の着衣などによる識別や調理従事者から配送・配膳員も含めた P マーク研修、食材の二重容器による移動などアレルギー対応食への配慮が評価できる。
- ・衛生確認や ATP 拭き取り検査を実施して指導にあたる配膳室モニタリングの提案は、配送先でも衛生管理を行う点で評価できる。
- ・食育支援として ICT の活用により、食べる側（生徒）による評価項目を設けている点が評価できる。
- ・調理機器に係る光熱水費の省エネ対策によるライフサイクルコストや環境負荷低減が定量的に提案されており、評価できる。

<南テストィパルグループ（最優秀提案者）>

- ・食中毒などの防止では、手洗いチェッカーの他、手指への ATP 検査、フードスタンプ検査、日常的な教育など具体的かつ詳細に提案されており、評価できる。
- ・部署ごとの専門職による HACCP チームを編成して毎週、取組の改善を行うことが評価できる。
- ・従業員の健康管理では、健康状態を管理表に記録した後に多重の点検システムが取られており、評価できる。
- ・アレルギー対応調理従事者は、専任として他の業務は行わず、対象アレルゲンの食材に触れないように独立した作業内容とされており、安全性が確立されている点で評価できる。

- ・配送計画が繰り返しの試走データに基づいて正確に作成されており、実現性の高い計画となっている点で評価できる。
- ・誤配送防止について、配送関係者や調理従事者などに対して分かりやすいルールが提案されており、評価できる。
- ・配送車の衛生管理について、ATP 拭き取り検査その他の細かな配慮が見られ、評価できる。
- ・学校行事に応じた給食の早出しなど配膳業務の柔軟な対応が評価できる。
- ・異物混入の主原因ごとの対策や異物混入発生時の後の対応が具体的に提案されており、評価できる。
- ・食育支援として生徒への積極的な情報提供や交流、残渣の綿密な記録と分析が提案されており、評価できる。

(6) その他

<シダックス大新東ヒューマンサービスグループ>

- ・防災訓練について、施設見学等来場者の誘導に関する訓練や地域住民も含めた合同炊き出しなど、実際の災害時に対応した訓練の提案が評価できる。
- ・地域経済への配慮として高齢者や障害者支援も提案されており評価できる。
- ・付帯事業として、地域と連携した朝市の開催などは評価できる。

<南テストィパルグループ（最優秀提案者）>

- ・災害発生時に運営企業が有する外食事業からの人員や物資などの供給が期待できる提案となっており、評価できる。
- ・付帯事業として、有償での親子料理教室の開催などは評価できる。

3.6. 総評

本事業は、中学校全員給食を実現するため、中学校給食センターを整備・運営するにあたり、設計業務、建設業務、維持管理業務及び運営業務を一括して企業グループに対して発注する DBO 手法を採用して民間活力を最大限に引き出し、効果的で良質な、そして何よりも安全安心で魅力的な学校給食の提供を行うことを目的とするものである。

今回、複数の事業者から関心が寄せられた中で、最終的に 2 グループから応募があった。提出のあった提案書は、本事業の内容を十分に理解し、これまでの各企業の実績を基に創意工夫が盛り込まれており、市の要求水準を上回る提案内容が示されていた。募集及び選定スケジュールが短い期間の中で、各グループの提案書作成にかかる多大なるご尽力に対して心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げたい。

シダックス大新東ヒューマンサービスグループの提案としては、市外企業と市内企業がバランスよく配置され、多くの実績を有する運営企業（代表企業）による体制のもと、従業員の健康管理への配慮に対するハード面・ソフト面での提案や地球環境・ライフサイクルコストに対する多様な提案などが評価された。

南テストィパルグループの提案としては、充実したモニタリング実施体制や施設整備の創意工夫、実現性の高い配送計画、異物混入に対する具体的な対応、市内事業者への発注額など、評価項目全般に対する詳細かつ具体的な提案が評価された。

これらの提案に対し選定委員会は、事業者選定基準に基づき、厳正かつ公正に審査を行い、株式会社南テストィパルを代表企業とする南テストィパルグループを最優秀提案者として選定した。

今後、南テストィパルグループは市と各種契約を締結し、長期間にわたる事業を実施することとなる。本事業を実施するに際し、市の要求水準や、選定委員会から評価された具体的な提案内容を確実に実行することは当然のこと、本事業をさらにより良いものとするため、同グループにおいては、以下の事項についても十分に配慮して整備・運営いただけるよう、選定委員会として要望する。

- ・「学校給食衛生管理基準」等に基づき、適切な衛生管理環境や体制を構築し、徹底した衛生管理を実施することで、食中毒等の事故を起こさないように万全を期すること。また、緊急時の対応等について入念な計画・準備に取り組むこと。
- ・将来の生徒数減少に応じた余剰能力の有効活用について、市と十分な協議を行うこと。
- ・各業務の実施にあたっては、実効性のあるモニタリングを着実にを行い、業務水準の維持向上・適切なコスト管理を図ること。
- ・災害に強い施設整備を進めていくとともに、災害発生時における学校給食の早期再開並びに地域貢献等が迅速に実施できるよう運営体制を構築しておくこと。
- ・本件施設に隣接する中央卸売市場との連携について、市と十分に協議を行うこと。
- ・提案のあった市内雇用の創出や市内事業者への発注等の取組については、確実に実現すること。また、従業員の安定的な確保について、継続的に取り組むこと。

最後に、南テストィパルグループが本事業を実施するにあたり、参画する全ての企業がそれぞれの役割を確実に果たし、事業期間中に生じる諸課題等についても、和歌山市との官民連携の精神に基づいた良好なパートナーのもと真摯に取り組むことを期待する。そして、本事業が順調に実施され、生徒全員に安全安心で魅力的な学校給食の提供が実現することを祈念する。